



Dis.cord

Rip@Lip

For Adult only



追っ手 「ハハハッ…天神流頭首八代目と
いっても数には勝てなかったようだな！」

「アヤネ様が自ら相手をする必要も
なかったな…」

霞 「くっ…アヤネ…まだ諦めて
なかったの…？」

追っ手 「くっ…アヤネ様の館に連れて行く前に
所詮はひ弱な女であることを自覚して
もらおうか…」

霞 「い…いや…っ なにを…っ！」

霞 「くうっ…は…離して…っ」

追っ手 「うるせえな…これでも啜えてろッ」

霞 「んぶっ！？ん…んっ」

追っ手 「へっ…ち○ほ啜えたら大人しくなりやがったぜ…さて女忍者さんのここはどうなってんのかなあ？」

霞 「！んぶっ…はああ…」

追っ手 「ちょっとクリトリス触っただけでそんな声出しちまって…じゃあこれはどうだ！？」

もじや

ふんふん

「グジュッ グジュッグジュッ！」

霞 「はあああ！指…抜い…あっあ！」

追っ手 「もうこんなに熱くなって吸い付いてるじゃねえか…どう突っ込んでやろうかあ？」

霞 「く…う…何されたって…私は…！」

追っ手 「その気丈さがそそるねえ…ほらお口がお留守だぜ！」

霞 「んっ！んぶっんぶっ…」

追っ手 「へへっ…俺から先に挿れさせて
もらおうか」

「ぐぶぶぶっ…」

霞 「はあああ！」

追っ手 「どうだ…汚いチ○ポ挿れられた気分は？」

霞 「だ…めっ！抜いて…っ」

追っ手 「こんな気持ちいいものを止めるわけには
いかねえなあ…そらっ！！」

「ジュブッ！ジュブッ！！ジュブッ！！」

霞 「っ！んあ…あっ！あっ！」

ド
ク
ク
ク
ク
ク

チ○ポ

チ○ポ

追っ手 「すげえ絡み付いてきやがるぜ…
中出しちまってもいいよなあ！？」

霞 「！い…いやっ！！やめて…っ！」

追っ手 「やだね…たっぷりくれてやる！」

「ピュルッ！ピュ！ピュ！」

霞 「くう…んああああっ！！」

追っ手 「今度は俺の番だな
…そらっ！」

霞 「ひあっ！」

追っ手 「なんだあ？いきなり
挿れられるのも
好きなのかよ？おらおらっ」

霞 「ふあ！あっ！あっ！」

追っ手 「くくっ…もっと熱いの
欲しいだろ？」

霞 「やあ…や…！」

追っ手 「おま〇こトロトロでもう
イキそうだあ…！出すぞっ！！」

「ビュクッ！ビュクッ！！」

霞 「んんああああっ！！」

アヤネ 「フフッ…いい格好ね霞」

霞 「あ…アヤネ…
こんなこと止めさせて…っ」

アヤネ 「抜け忍になったお前には
その格好がお似合いなのよ…
男を喜ばせるだけの肉便器の
格好がね！」

ず
ず
ち
や
ら

ず
ず
ち
や
ら

霞 「くっ…んっ…ん…はあん！」

アヤネ 「なあに？乳首いじられただけで
感じちゃった？ やらしいコ…」

男 「アヤネ様…こいつの胸気持ちよすぎて
すぐ出てしまいそうですよ…」

アヤネ 「まだだめよ…お前たちもっと
気持ちいいことしたいでしょう？」

霞 「！っ…や…めてっ」

アヤネ 「ふふ…いい泣き声聞かせてもらうわ…」



霞 「んっ…ふああん…っ」

アヤネ 「どうしたのかしらあ？だいぶ声が
激しくなってきたじゃない…」

霞 「くう…ん…んはああ！」

アヤネ 「お前のココがどうなってるか教
えてあげようか…」

「クパアアツ…」


アヤネ 「あらあら奥までこんなにグジュグジュ
…ひくひくいやらしく動いてるわあ…
もっと奥に突っ込んだらどうなるかしら？」

「グブブブブッ！！」

霞 「！っやああっ！んああああっ！！」

アヤネ 「ふふ…もういっちゃったのね…
おま〇こビクビクさせてだらしない…
でもまだ休ませてあげないわ…」

ザー
ザー
ザー



アヤネ 「ふふ…お前たち待たせたわね…
この娘を好きにしていいわよ」

男 「へへ…たっぷり可愛がってやるよ」

霞 「い…いや…」

男 「霞ちゃんは後ろからが好き
なのかなあ？こんな風にッ」

「ジュブッジュブッジュブッ」

霞 「ひっあ！はっ…あっあっ」

男 「お前のま〇こに突っ込むのに慣れて
たんだ…思ったとおりすげえ締めりだぜ」

霞 「あっ…はあっ…
き…きつい…ダメ…っ」

アヤネ 「なに言ってるの…？淫乱なお前
ならあと一本くらいいけるわよね…？
後ろが空いてるじゃない」

霞 「ひっ！だめえ…そっちはあ…っ」

男 「へへへ…じゃあ俺はこっちの
穴をもらうぜ…！」

「グブブッ…！！」

霞 「！っあっ！！あああっ！！」

男 「こっちは初めてかあ…？
すげえ締めまりだぜ」

霞 「くううっ！お…お願い抜いてええっ！」

「ぐぼっぐぼっぐぼっ！」

男 「どうだ霞い…お前の肉壁を隔てて
ち○ぽが出入れしてるのがわかるだろお」

霞 「ふあっ！あっあっ…やああ」

男 「このままお前のなかにぶちまけてやる…ッ」

「ドグッドクドクッ」

霞 「！っあ 熱いのが…っ
んはああああっ！！…」

ドク
ドク

てん

ポッポッ



くっっ...

ひっく

ひっく


「ビュルッ! ビュルッ!」

霞 「っあ...あ...」

アヤネ 「ふふ...もう何回中出しされた
かしら...ポロポロね霞...」

霞 「はあ...はあ...」

アヤネ 「でもこんなじゃ私の気が
晴れないわ...これからゆっくり調教
して行ってあげる...」



アヤネ 「もうすっかりメス奴隷ねえ…霞
いつものご挨拶はどうしたの？」

霞 「はあ…っんっ 霞は…いやらしい
肉便器ですので…っ
今日もいっぱい気持ちよくなって
ください…っ」

アヤネ 「アハハッ…お望みどおり
今日もたくさん突いて
おやり、お前たち」

霞 「はあん！すごいのお…
奥まズッポリはいつてるう…っ」

男 「まだイクんじゃないぞ？こっちが
中で出すまで我慢だ」

霞 「だめえ…我慢で…できないです…っ
イクっ…イっちゃいます…ッ」

男 「しょうがねえな…壊れるくらい突いて
やるよ！」

霞 「んっはあああっ！い…く…うううっ」

兄さん…

ドキ

私の胸…こんなに大きくなったんだよ？

旅立つ前に…抱いてほしいの…♡

ドキ

むにゅん

んっ…

兄さんのニム…すごく熱くなってる…私の胸気持ちいい？

んっ♡

むにゅん

ひゃっ…

やだ…兄さん
出すの早いよお

…私も…気持ちよく
させて…っ

びゅっ

びゅっ

もうこんなに
トロトロなの…

兄さんのだったら
いきなり突っ込まれても
いいよ…♥

ん





ゴックン

もっと強く
揉んでっ♡

ゴックン

おっぱい!

あ♡

あ♡

んんっ♡
おっぱいもっ

きゅ♡

あ

ビュッ

いんっ♡
いっせいでっ

兄さんのビクビク
いっせいで

ビク

ビク

なか...
出してっ

ドクッ

...うんっ

んんんっ…

なかでまだ
出てるっつ

もじゅ…めちやくちやくち
しつじゅから…じゅ

ぽぽ

ぽぽ

熱いのが奥まで
届いてる…っ

すごい…兄さんの
まだ元気…♡

私も…まだ
物足りないの…♡

もう一回だけ…
ね？

Dis.cord

Rip@Lip

For Adult only